

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 秋川牧園

コード番号 1380 URL <http://www.akikawabokuen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋川 正

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部経理課長

(氏名) 原田 良人

TEL 083-929-0630

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	3,261	△2.2	21	△65.4	16	△66.8	1	△96.0
22年3月期第3四半期	3,333	△0.9	61	337.9	51	107.0	46	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	0.44	—
22年3月期第3四半期	11.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	%
23年3月期第3四半期	4,128		1,280		31.0	306.71	
22年3月期	3,712		1,294		34.9	310.17	

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 1,280百万円 22年3月期 1,294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期(予想)				3.00	3.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,187	△3.0	47	△28.2	40	△26.5	16	△39.7	3.83

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有
新規 1社（社名 有限会社 篠目三谷 ）、除外 1社（社名 ）、
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 4,179,000株 22年3月期 4,179,000株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 5,638株 22年3月期 4,639株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 4,173,584株 22年3月期3Q 4,175,167株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、好調な新興国経済の効果を背景に一部で景気回復の動きが見られたものの、依然として厳しい雇用情勢による個人消費の低迷など、先行きの不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者の生活防衛意識により、低価格志向が継続するなど、引き続き厳しい状況となっております。

このような状況の中、当社の主たる販売先である産直型の生活協同組合及び宅配会社にも節約志向・低価格志向の波が及んでおり、鶏肉の売上高は前年同期を下回りました。また、利益面につきましては、鶏肉を使用した冷凍加工食品の売上は引き続き伸張したものの、鶏肉の需要の低迷の影響が大きく減益の要因となりました。なお、食肉の中で鶏肉の持つ価格競争力もあり、主力の鶏肉の販売は回復基調にあります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、32億61百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は21百万円（前年同期比65.4%減）、経常利益は16百万円（前年同期比66.8%減）、四半期純利益は1百万円（前年同期比96.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(産直畜産事業)

主に産直型の生活協同組合及び宅配会社へ販売している鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵で構成される産直畜産事業につきましては、鶏肉を使用した冷凍加工食品の売上高が引き続き伸張したものの、鶏肉の需要が低迷したため、売上高は微減となり、営業利益は減少しました。

この結果、産直畜産事業の売上高は、27億1百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は2億61百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

(総合宅配事業)

当社の食品を中心に会員宅に毎週商品をお届けする会員制宅配事業「スマイル生活」につきましては、注文者数、客単価は共に前年並みとなりましたが、前年同期に含めておりました牛乳宅配を当期は除いたため、売上高は減少いたしました。また、人件費やカタログ作成にかかる費用等、販売費及び一般管理費が増加いたしました。

この結果、総合宅配事業の売上高は、4億70百万円（前年同期比3.6%減）、営業損失は8百万円（前年同期は0.7百万円の利益）となりました。

(牛乳製造卸売事業)

牛乳や乳製品を生産、販売している牛乳製造卸売事業につきましては、当期に入ってから、採算性に問題のあった量販店等への卸販売の縮小を行ったことにより売上高は減少いたしました。利益面につきましては、牛乳製品の製造を担う子会社の(有)あきかわ牛乳における稼働率の低下等が減益要因となりました。

この結果、牛乳製造卸売事業の売上高は、56百万円（前年同期比37.3%減）、営業損失は22百万円（前年同期は17百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、4億16百万円増加し、41億28百万円となりました。これは主に売掛金の増加（1億85百万円）、及び(有)篠目三谷を連結子会社にしたこと等による、有形固定資産の増加（2億86百万円）等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億30百万円増加し、28億48百万円となりました。これは主に長期借入金（1億89百万円）及び買掛金（88百万円）等の増加によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ14百万円減少し、12億80百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億46百万円増加し、8億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1億15百万円になりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益（14百万円）に対して、減価償却費（1億36百万円）、たな卸資産の減少（66百万円）等から、売上債権の増加（1億48百万円）等を控除したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は1億75百万円になりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出(1億13百万円)、貸付けによる支出(54百万円)、投資有価証券の取得による支出(50百万円)等から、貸付金の回収による収入(31百万円)等を控除したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は2億5百万円になりました。

これは主として、長期借入れによる収入(3億50百万円)、短期借入金の純増額(30百万円)等から、長期借入金の返済による支出(1億50百万円)等を控除したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年11月5日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第1四半期連結会計期間において、(有)篠目三谷の株式を追加取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性が低下していることが明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目等を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	779,615	633,082
受取手形及び売掛金	625,421	439,942
有価証券	20,429	20,419
商品及び製品	57,944	74,734
仕掛品	261,536	317,295
原材料及び貯蔵品	59,589	48,868
その他	190,329	300,570
貸倒引当金	△766	△838
流動資産合計	1,994,100	1,834,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	701,393	673,841
土地	794,901	667,901
その他（純額）	343,125	210,760
有形固定資産合計	1,839,420	1,552,503
無形固定資産		
のれん	97,858	56,731
その他	20,470	21,331
無形固定資産合計	118,329	78,062
投資その他の資産	176,925	247,923
固定資産合計	2,134,674	1,878,489
資産合計	4,128,775	3,712,563
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	380,579	292,223
短期借入金	1,300,000	1,270,000
未払法人税等	5,587	11,402
賞与引当金	14,100	30,144
その他	421,570	348,817
流動負債合計	2,121,839	1,952,587
固定負債		
長期借入金	432,585	242,789
退職給付引当金	165,419	154,575
役員退職慰労引当金	45,312	43,268
その他	83,578	24,579
固定負債合計	726,895	465,213
負債合計	2,848,734	2,417,800

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	554,541	554,541
利益剰余金	12,830	23,512
自己株式	△3,573	△3,163
株主資本合計	1,277,948	1,289,040
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,092	5,722
評価・換算差額等合計	2,092	5,722
純資産合計	1,280,040	1,294,762
負債純資産合計	4,128,775	3,712,563

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,333,748	3,261,767
売上原価	2,577,186	2,538,306
売上総利益	756,561	723,461
販売費及び一般管理費	695,379	702,274
営業利益	61,182	21,186
営業外収益		
受取利息	3,103	1,745
受取配当金	805	946
補填金収入	616	1,724
還付消費税等	—	4,357
負ののれん償却額	1,692	—
その他	4,564	8,101
営業外収益合計	10,782	16,875
営業外費用		
支払利息	20,766	20,994
その他	111	88
営業外費用合計	20,878	21,082
経常利益	51,085	16,979
特別利益		
固定資産売却益	431	952
貸倒引当金戻入額	299	73
特別利益合計	731	1,026
特別損失		
固定資産売却損	2,168	2,125
固定資産除却損	2,884	1,740
特別損失合計	5,053	3,865
税金等調整前四半期純利益	46,763	14,140
法人税、住民税及び事業税	5,190	10,738
法人税等調整額	△5,256	1,561
法人税等合計	△65	12,299
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,840
少数株主利益	269	—
四半期純利益	46,559	1,840

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	46,763	14,140
減価償却費	101,955	136,464
のれん償却額	8,703	11,602
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△347	△73
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,447	△17,073
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,381	10,843
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,957	2,043
受取利息及び受取配当金	△3,909	△2,691
支払利息	20,766	20,994
有形固定資産売却損益(△は益)	1,737	1,172
有形固定資産除却損	2,884	1,740
売上債権の増減額(△は増加)	△160,214	△148,076
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61,903	66,312
未収入金の増減額(△は増加)	35,598	35,291
仕入債務の増減額(△は減少)	41,348	△4,149
その他	40,823	20,985
小計	68,096	149,526
利息及び配当金の受取額	3,892	2,848
利息の支払額	△20,480	△20,431
法人税等の支払額	△15,804	△16,149
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,703	115,794
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△108,268	△113,053
有形固定資産の売却による収入	4,495	14,895
投資有価証券の取得による支出	—	△50,000
子会社株式の取得による支出	△6,975	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	3,502
貸付けによる支出	△54,900	△54,660
貸付金の回収による収入	43,408	31,090
ソフトウェアの取得による支出	△250	△4,025
その他	△1,405	△2,888
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,894	△175,137
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	30,000
長期借入れによる収入	200,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△103,599	△150,590
自己株式の取得による支出	△638	△409
配当金の支払額	△8,490	△12,403
その他	△8,293	△10,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	78,977	205,886

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,213	146,543
現金及び現金同等物の期首残高	614,259	653,502
現金及び現金同等物の四半期末残高	605,046	800,045

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	製造卸売事業 (千円)	宅配事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,838,601	495,147	3,333,748	—	3,333,748
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	87,375	3,591	90,966	(90,966)	—
計	2,925,976	498,739	3,424,715	(90,966)	3,333,748
営業利益又は営業損失 (△)	227,171	△10,967	216,204	(155,021)	61,182

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、業務の専門性及び業態を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な商・製品

事業区分	主要な商・製品
製造卸売事業	健康食肉 健康加工食品 健康鶏卵 健康牛乳
宅配事業	健康食肉 健康加工食品 健康鶏卵 健康牛乳 有機農産物 一般健康食品等

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントについて、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成されており、「産直畜産事業」、「総合宅配事業」及び「牛乳製造卸売事業」の3つを報告セグメントとしております。

「産直畜産事業」は、主に産直型の生活協同組合や宅配会社向けに、鶏肉、豚肉、牛肉、食肉の加工品及び鶏卵の生産・販売をしております。「総合宅配事業」は、当社の食品を中心とした食品と生活雑貨を会員向けに販売しております。「牛乳製造卸売事業」は、牛乳や乳製品の生産・販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	産直畜産	総合宅配	牛乳製造卸売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,701,964	470,232	56,553	3,228,751	33,016	3,261,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	76,762	2,290	41,889	120,942	189,637	310,580
計	2,778,727	472,522	98,443	3,349,693	222,654	3,572,348
セグメント利益又は損失 (△)	261,960	△8,798	△22,345	230,816	△16,522	214,294

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、牛乳宅配事業及び物流部門等を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	230,816
「その他」の区分の利益	△ 16,522
のれんの償却額	△ 11,602
全社費用（注）	△181,504
四半期連結損益計算書の営業利益	21,186

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

該当事項はありません。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。